

「歯は大切、歯の本当の役割」

平成19年4月に開院して以来、お口の中から皆様の健康に貢献することを願い今日まで頑張ってきました。そのために今までの歯科の常識にとらわれずに勉強を続けてまいりました。

歯は健康を維持するためにとっても大切な臓器です。

そのことをより多くの人に伝えたいとの思いから今月よりニュースレターを発行します。

第1回目、今回のテーマは「歯は大切、歯の本当の役割」です。

皆さんは五感という言葉をご存知ですか？

五感とは視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚の5つの感覚のことをいいます。

人間は目で物を見て（視覚）、耳で音を聞き（聴覚）、鼻でにおいを嗅ぎ（嗅覚）、舌で味を感じ（味覚）、そして皮膚や歯で物の硬さを感じ（触覚）ています。

そうです。歯は目や鼻などと同様に脳神経を通じて脳に直接つながる触覚の重要な感覚器なのです。脳神経は12対あり、そのうち歯とつながる神経は三叉（さんさ）神経といい、脳神経の中で一番大きいものです。さらに舌などの口の中に関係する神経は半数を占めます。

考えてみれば動物は口から物を食べなければ死んでしまいます。口、特に歯は生きていくうえでとても大切な情報を脳に直接伝えているのです。歯を失うということはその大切な情報の最先端の器官を失うこととなります。歯の神経をとってしまっても、歯そのものの強度が減衰していくだけでなく触覚の感覚器としての機能も半減してしまいます。目を病気や怪我で失えば見えなくなり、脳に情報がいかなくなるのと同じことなのです。

ですから歯は健康な状態すなわち虫歯になっていない、歯周病の問題もない状態を維持することが大切です。もし虫歯になってしまっても神経の治療にならないように、できるだけ処置をすべきです。神経の治療をしてしまった歯もできる限りの処置をして少しでも長く使えるようにすべきだと思います。

もう一度いいます。歯は脳に直結する触覚の感覚器です。大切に一生使えるようにしましょう。

このニュースレターを「さわやか通信」としたのは、酒匂という地名をご存知ない方が、“さかわ歯科クリニック”を“さわやか歯科クリニック”とよく間違うのでこの際使おうと思いました。